



10月27日 全町運動会に参加したよ！

10月27日（日）、前日からの雨模様の天気が心配されておりましたが、全町運動会実行委員の方々、各地域の役員の方々は、早朝の6時30分頃から加茂谷中学校のグラウンドに集まり、各地域のテントの準備や競技用のライン引き等の準備を行っていただきました。

早朝は、曇り空でしたが、少しずつ雲の合間から日差しが差し込み、9時の開会式が始まる頃には、秋というのに夏のような強い日差しのもと、加茂谷中学校のグラウンドにおいて全町運動会が開催されました。コロナ開けの昨年度に引き続きの開催となりました。幼稚園のみなさん、小学生のみなさん、中学生のみなさん、加茂谷地域のみなさんの心を一つにして開催することができました。

今回の全町運動会のスローガンは、加茂谷中学校2年生が考えた『心を一つに笑顔あふれる運動会！』でした。

今年度の全町運動会を迎えるにあたり、加茂谷スポーツ協会のみなさまや全町運動会実行委員のみなさまには、当日の運営はもちろん、事前の打合せ会や当日に向けての準備、さらに、前日が雨模様ということでも早朝からの準備と大変お世話になりました。みなさま方のご尽力により、全町運動会が開催することができたことに感謝いたします。ありがとうございました。

全町運動会では、小学生は、「徒競走」、「紅白まり入れ」、「小学生種目としてのくつとばし」、「地域の方と一緒にいった晴れたらいいね」、「養老の滝」等の種目に参加しました。

「プログラム3番：徒競走」では、1年生から6年生までの子どもたちが、学年ごとに一人ずつ名前を呼ばれ、元気よく返事をしてゴールをめざして最後まで一生懸命走る姿が見られました。

「プログラム12番：紅白まり入れ」では、赤・青・黄の3つのグループに分かれて行いました。制限時間は約30秒でしたが、それぞれに玉をしっかりと握って、かごをねらって投げていました。

「プログラム15番：くつとばし」では、1～3年生の組と4～6年生の組の2つの組に分かれて競技をしました。それぞれにスタート場所に並んで、スタートのかけ声を聞いて一斉にカー杯靴をとばしていました。自分のイメージしたように、遠くまでとばすことができた子どもたちの姿がたくさん見られました。

「プログラム22番：養老の滝」では、今年は全校児童が赤・青・黄の3つのグループに分かれて参加しました。小学生のチームと中学生の計6チームにわかれて競技をしました。バケツの水をすくって、少し離れた場所にあるピンがいっぱいになるまで水を繰り返し運んで、注いでいく競技です。水をできるだけこぼさずに移動しながらピンに注ぐのは、大変難しそうでした。

閉会式では、6年生の代表が、「これで、加茂谷地区全町運動会の閉会式を終わります。」という閉式のことばを堂々と加茂谷地域の人たちの前で言って、全町運動会を無事に終了することができました。

<少しですが、全町運動会の様子を紹介します。>



<大会長さんのお話>



<開会式で並んでいる様子・ラジオ体操をしている様子>



<小学生の徒競走の様子>



<紅白まり入れの様子>



<小学生種目のくつとばしの様子>



<養老の滝の様子>



<消防車体験の様子>



<閉式のことばの様子>